

保護者レクリエーション

5月15日（月）会議室にて保護者レクリエーションが行われました。内容は「和菓子作り教室」でした。香西北町にある「菓匠芝山」の鈴木康成さんを講師としてお迎えし、教えていただきました。今日作ったお菓子は「ねりきり」の生地で作った「ぼたん」と「あやめ」でした。薄手のハンカチで茶巾しぼりにしたり、生地を目の細かいざるで裏ごししたものひとつかたまりをつかっておしべに見立てたり、木のへらで花びらをかたどったりと繊細な作業がたくさんありました。見るのと作るのでは大違い。みなさん、難しい作業に真剣なまなざしで取り組んでいました。



ぼたんとあやめ



感想

- ・ 昨年も参加しました。2回目ということもあり、少しは上手にできるかと思いきや、やはり難しい和菓子作り。鈴木先生との会話も少しずつ弾み、終わるころになってやっとなにげやかになった感じでした。
- ・ 久々に集中して何かに取り組むことができ気分がリフレッシュしました。
- ・ 和菓子作り体験2回目の参加でした。2回目だからだいたいコツはつかんでいる！と一瞬でも思ったのは甘かった……。まったく思うように形作れず……。手先の不器用さと芸術センスの無さを思い知らされる瞬間でした。でも自分なりに頑張って出来上がった和菓子の花はそれなりに愛らしく、子どもと一緒においしくいただきました。
- ・ 今回初めての保護者研修会の参加、初めての和菓子作りでとても緊張しましたが、皆さんとわいわい楽しく活動できました。和菓子の造形は「ザ・職人技」の典型で不器用な私には「花びらを作るように生地をつまむ」だけで「あらら～」な出来でしたが、そういった作業の一つでも職人さんの凄さを感じ、久しぶりに子どものように「失敗した」「できた」など盛り上がることもできて、貴重な時間となりました。